

2025年 3月期

決算説明会

質疑応答（要旨）

2025年 5月13日

杏林製薬株式会社



2025年3月期 決算説明会 質疑応答（要旨）

質問内容		回答
1	開発品：KRP-S124 全世界で年間1,000億円以上の売上を目指すとのことだが、それほどポテンシャルの高い化合物を導入できた背景は何か？	導出企業の経営戦略上の理由から当化合物の導出を決定したと聞いている。当社については、重点領域（呼吸器科や耳鼻科など）への取り組みを高く評価していただいたものと考えている。
2	開発品：KRP-S124 サブライセンス先の状況や今後の開発スケジュールなどは？	ファースト・イン・クラスになり得る化合物であり、化合物の価値が高まるのはPh2試験の結果が見えてからであると考えている。その結果を基にライセンス活動を行う予定。
3	開発品：KRP-M223 前臨床段階の化合物だが、経済条件からみても高く評価されている印象がある。なぜ創製できたのか、その背景を教えてください	MRGPRX2受容体の機能やマスト細胞の活性化への関与が明らかになったのは最近のこと。現行治療薬はIgE受容体を介した反応を抑制するが、約半数の患者さんで薬剤抵抗性がみられる。MRGPRX2は、IgE受容体を介した反応とは異なるシグナルで脱顆粒反応を誘導することから、現行治療で効果の得られない患者さんにも有効性が期待できると考えている。また単純比較はできないが同メカニズムの先行薬剤と同等以上のプロファイルがあると認識しており、そこが評価されたものと思う。

2025年3月期 決算説明会 質疑応答（要旨）

質問内容		回答
4	開発品：KRP-M223 同メカニズムの先行品に対して同等以上のプロファイルとのことだが、具体的な違いは？	特許等を含め、開示されている情報などからの推察となるが、受容体に対する活性や in vivo で作用する用量などから窺える効果についても、同等以上ではないかと想定している。
5	開発品：KRP-R120 国際共同治験（Ph3）が今年度終了するに伴い、国内申請時期や今後のスケジュールを知りたい。また27年3月期にもマイルストーン費用の計上はあるか？	今年度のPh3試験の終了を踏まえて国内承認申請を想定しているが、詳細なスケジュールや今後のマイルストーン費用などについては控えさせていただく。
6	開発品：KRP-DT123 2Qの決算説明会では、今年度の早い時期に試験結果の概要を話せるとのことだった。次のステップに進めるデータが得られたのか？	期待を上回る結果が得られているとの認識であるが、今後の承認プロセスについてはまだ確定していないこともあり、引き続き行政当局との確認を継続していきたい。

質問内容	回答
7 自社創薬：導出可能性 今後も御社がコンスタントに導出する化合物を創出できるかに関心を払っている。どの辺りにブレイクスルーがあり、次につながっていくと考えるか？	当社は低分子創薬を得意としており、それを活かした創薬力ときめ細かな解析などにより、総合的に優れたプロファイルの化合物としてKRP-M223を創製できたと思う。今後、新しい創薬ターゲットやコンセプトで創薬を続けることで、継続的な導出に結びつく化合物も創製が可能であると考えている。
8 導入品：今年度計画 今年度、早期に実績貢献が見込める製品を2件以上導入する計画としているが、P/Lに織り込んでいるか？	今後の導入品については、今年度の計画に織り込んでいない。
9 導入品：導入環境 導入は競合他社もあり、厳しい環境下であると認識しているが、現状はどうか？	評価する案件は倍増させているが、契約に至るまでには厳しい状況が継続している。当社の重点領域を中心とした取り組みや開発力の観点から、総合的に評価してもらいたいと考えている。

2025年3月期 決算説明会 質疑応答（要旨）

質問内容	回答
10 主力製品：リフヌア 新たな診療ガイドラインに掲載された内容を紹介したドクターの反応や新たな課題などはあるか？	難治性慢性咳嗽の定義が明確になったことに加え、日本咳嗽学会から使用実態調査としてリアルワールドデータが公表された。どのような症例にリフヌアが適しているかなどの解析が進んでおり、具体的な提案が進めやすくなった点がプラスと考えている。
11 研究開発費：前年との比較 26年3月期予想が前年度比プラス1億円となる要因について、KRP-S124導入の反動減とKRP-R120の開発進展に伴う費用計上の他に何か要因はあるか？	他に大きな要因はない。
12 選定療養：売り上げへの影響 長期収載品の選定療養の影響については、想定通りであったか？	25年3月期の計画時点では想定していなかった。選定療養の開始により長期収載品であるキプレスやムコダインの小児製剤を中心に影響を受け、売り上げが減少した。今年度の薬価改定において、ムコダイン錠の最低薬価が引き上げられたこともあり、今年度のムコダインの計画は昨年より高めに設定している。